

皇帝暗殺者

満月の日



映画ファンの熱いリクエストにお応えし、
ロシア映画の巨匠、カレン・シャフナザーロフ監督の作品を集中再上映。
2日間にわたり名優の熱演、才気に満ちた4本の大作をご堪能ください。

シャフナザーロフ 映画祭2023



浜離宮朝日ホール小ホール

(都営大江戸線「築地市場」A2出口すぐ)

2023年6月23日(金)

24日(土)

14:00～「皇帝暗殺者」(1991年/104分)

14:00～「蒼ざめた馬」(2004年/106分)

16:00～「満月の日」(1998年/93分)

16:05～「失われた帝国」(2008年/105分)

入場料 1,000円(1日券)

チケット・お問合せ:ロシアン・アーツ ☎03-5919-1051 (平日11:00-17:00 / e-mail: russian-arts@e-mail.jp)

主催/ロシア文化フェスティバル組織委員会

後援/ロシア連邦文化省、駐日ロシア連邦大使館、ロシア連邦文化協力庁、ロ日協会、INARTEX、ロシアン・アーツ
協力/モスフィルム

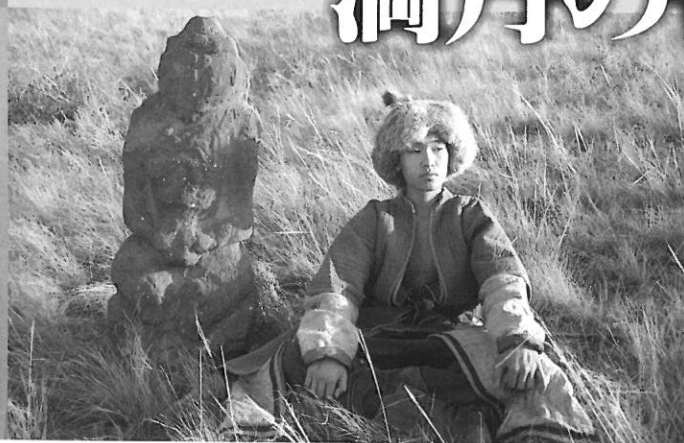
蒼ざめた馬



失われた帝国

皇帝暗殺者

満月の日



『皇帝暗殺者』《Парубийца》

(1991年/104分/口英共同制作)

出演：オレグ・ヤンコフスキー、マルコルム・マクダウェルほか
1918年6月16日から17日にかけての深夜、エカテリンブルグで、裁判も審理もなく、皇帝ニコライ2世がその家族や側近たちとともに殺された。数十年後、この恐ろしい夜の事件を、かつての囚人で現在は精神病院の古老が語る。彼は、自分が皇帝暗殺者だと思っているのだ。

『満月の日』《Лень полнолуния》

(1998年/93分)

出演：アンナ・ゲルム、アンドレイ・パニンほか
登場するのは、1948年にモスクワのレストランで食事をしている、若い東洋の貴族と検察庁の予審判事、そしてさらに、国内の様々な地方に、またその歴史上の様々な時代に住んでいた数十人の人々…。



『蒼ざめた馬』《Всадник по имени смерть》

(2004年/106分)

出演：アンドレイ・パニン、アルチョム・セマキンほか
20世紀初頭、ロシア帝国は社会革命党「戦闘組織」によるテロに脅かされていた。しかし大公の暗殺はことごとく失敗する。リーダーのジョージは、大公暗殺だけが自分の存在意義だという考えに次第にとりつかれていく…。原作は実在の革命家ロープシンの自伝的小説。

『失われた帝国』《Исчезнувшая Империя》

(2007年・2013年/105分)

出演：アルメン・ジガルハニャン、アレクサンドル・リャービンほか
2007年の作品を2013年に再編集。舞台は1973年モスクワ。大学生のセルゲイはある日、講義でリューダという学生と知り合い、急接近する。やがてリューダをめぐる友人と三角関係に…。ソビエト連邦が消滅するとは、つゆほども感じられなかったあの時代、永遠に失われてしまったあの時代を描く。

蒼ざめた馬

失われた帝国

浜離宮朝日ホール 小ホール

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞東京本社・新館2階

- 「築地市場駅」都営大江戸線（A2出口）すぐ
- 「築地駅」東京メトロ日比谷線（1、2番出口）より徒歩約8分
- 「東銀座駅」東京メトロ日比谷線／都営浅草線（6番出口）より徒歩約8分
- 「新橋駅」JR（汐留口）／東京メトロ銀座線（1、2番出口）／都営浅草線（改札口）より徒歩約15分

＜新型コロナウイルス感染症対策に関するお客様へのお願い＞

- ・ご入場時の手指消毒、検温にご協力ください。高温（37.5℃以上）の方はご入場を見合わせていただきます。
- ・会場内では常時マスクを着用、咳エチケットにご協力をお願いいたします。

